

西川 ひとし

会派・自民党連合・創生
奈良県議会議員（葛城市選挙区）

9月定例会では副議長として議事の進行も努めさせていただきました。



西川ひとしです。皆様に県政の報告を始めて今回で早くも30回目となります。これを契機に初心に戻り県政のことを出来るだけ平易に伝えていくことを心掛けてまいります。至らぬ点がございましたら、なんなりとご指摘をいただきますよ

う、お願いいたします。さて、今回は10月24日に閉会した奈良県議会の9月定例会になります。議会は原油や物価などの高騰に伴う対策などを盛り込んだ131億円余りの補正予算案のほか、令和3年度の決算などを承認しました。

新型コロナウイルス、ガソリンや物価高 131億円の補正予算を承認

9月
議会

円安に伴ってガソリンや物価が高騰しており、皆様の家計を直撃しているなかで、この補正予算が県民のみなさまのお役に立つことを切に願っております。

私が所属する自民党連合・創生の代表質問として、粒谷友示議員が、「新型コロナウイルスが今なお高い水準で新規感染者が確認されていることから、県の対応を質しました。」

荒井知事は「ウイルスの毒性が低下しているとしての認識をしめたほか、県独自の基準を設けて対応しているが支障は出ていない」としました。奈良県独自のコロナ対策が成果をあげているともいえます。また、粒谷議員はこの他、企業誘致や学研都市高山第2工区のまちづくり、デジタル化の推進等を質問しています。詳しくは県のホームページからも質問の様子が確認できるようになっています。

補正予算の中から主要なものをピックアップしてご紹介します。

中小企業に 手厚い支援 県独自の取組み

▽中小企業経営力向上支援事業（310、000千円）新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰等の影響を受けた中小企業者等が取り組む新事業の創出や新分野への進出等の前向きな投資に対し補助。負担区分Ⅱ県（地方創生臨時交付



副議長としての職務も努めました

金）3分の2・実施主体3分の1

【解説】新型コロナウイルスや物価高騰の影響を受けた中小企業への補助金は2度目となり、近隣の大阪府にはない独自の取組として評価できると思っております。特に奈良に本社がなくても、奈良で事業所があれば申請できることも事業者から助かったという声を聞きます。

▽奈良県中小企業会館等宿泊事業者選定事業（8、500千円）奈良県中小企業会館及び奈良商工会議所会館を一体的に活用する宿泊事業者の選定。負担区分Ⅱ県10分の10

▽奈良県肥料価格高騰緊急対策事業（3、100千円）肥料価格高騰の影響を緩和するため、国の肥料価格高騰対策を活用する生産者に対し補助。負担区分Ⅱ県（地方創生臨時交付金）2分の1・実施主体2分の1

▽飼料価格等高騰対策緊急支援事業（75、700千円）飼料価格高騰の影響を緩和するため、畜産農家に対し補助。負担区分Ⅱ県（地方創生臨時交付金）2分の1・実施主体2分の1、県（地方創生臨時交付金）6分の1・実施主体6分の5

▽情報システム最適化事業（85、548千円）デジタル化による行政サービス・手続きの効率化や生産性の向上、県職員の在宅勤務やテレワークの増加に対応するため、庁内情報システム統合基盤を強化。負担区分Ⅱ県10分の10、県（地方創生臨時交付金）10分の10

▽新地域デジタル化支援事業（84、300千円）原油価格・物価高騰、人手不足などの雇用環境の変化に対応するため、県内事業者のデジタル技術の導入による生産性・収益性の向上を支援。金融機関と連携した県内中小企業等へのデジタル技術の導入支援・フォローアップ。専門家によるデジタルを活用した経営やブランディング講座の開催。デジタル技術を体感できる見本市の開催。負担区分Ⅱ県（地方創生臨時交付金）10分の10

県政HOTニュース

安枝新警察本部長が 所信を表明しました



「県民の信頼を取り戻したい」と話す安枝亮・新警察本部長

9月議会では全国に衝撃を与えた安部元総理の襲撃事件に伴い、警察本部長に安枝亮氏が新たに就任し所信を表明しました。安枝警察本部長は、「職員とともに安部元総理大臣の襲撃事件を深く胸に刻み、県民の信頼を取り戻していきたい。地道に誠実に業務を行いたい。社会構造の変化や化学技術を的確に把握し、警察の対応を高度化して対応していく」と力強く語っていただきました。奈良の治安維持に全力を傾注していただきたいと思います。

◆県域水道一本化が現実未を帯びる

奈良県議会の決算審査特別委員会田尻匠委員長が10月19日に開かれています。総括質疑のなかで、県域水道一体化に関して荒井正吾知事が10月13日に開かれた県広域水道企業団設立準備協議会の内容を報告しました。各市町村の参加、不参加については二月下旬の次回協議会で意向を確認。改めて参加の是非を問う大和郡山市には一定の猶予期間を設けた上で、「年内に全団体が

最終確認できれば」とする考えを示しています。

◆議会のICT化へ一歩前進

奈良県議会改革推進会議(田中惟允委員長)は24日、会議を開き、議会のICT化に向けた協議を行いました。この中で委員会への委員のオンライン出席については、県議会委員会条例を改正する方針で各委員が合意しました。今後は改めてオンライン出席を認める事由の範囲について調整を進める予定です。

◆奈良県民は金融リテラシーが高い？

お金に関する知識や判断力を把握する日銀などのアンケート調査で、奈良県が正答率で全国1位となりました。

この調査は、日銀や金融機関などで行われる「金融広報中央委員会」が、全国の3万人を対象に、金融取引や保険、それに、ローンといったお金に関する知識や判断力、いわゆる「金融リテラシー」を調べたものです。調査では、「金融リテラシー」を確かめる問題の正答率を見ると、奈良県が平均で58.8%になり、島根県と並んで全国1位となりました。

奈良県は、2016年の調査でも1位となっていて、金融に関して豊富な知識を持つ県民が多いことを示唆した形です。関西では、兵庫県と滋賀県が10位と上位に入っています。

国は、今年度から高校で「金融教育」を本格的に始めていて、若年層を中心に、知識を習得して自分にあった資産形成やトラブルの回避などにつなげられるかが注目されます。

ひとしのひとりごと

○…この頃の若い人は新聞や雑誌などの活字媒体を読まずに、情報はもっぱら動画なのだそうだ。ユーチューブやTikTokなど動画投稿サイトが賑わっていて、大手企業も宣伝をこうした媒体に移行している。だから、活字媒体の新聞や雑誌はどれも経営がかなり厳しい。

○…私が親しくしている元新聞記者の彼からも興味のある話を聞いた。彼は新聞社を辞めてから、新聞はさっぱり読まないと言うから空いた口がふさがらない。その彼が言うには動画投稿サイトには多くの学びがあるという。政治や経済、社会、教育などの勉強もすべて動画で完結するらしい。

○…彼は動画の普及を手放しで喜んでいる。なぜか？「昔なら学ぶには高いお金を払って塾に通う必要があった。今はユーチューブなどに専門性の高い動画チャンネルが無数もあり、そこで知識を得ることが可能になった。

学びはこそ最高のゲーム？

つまりお金がなくても学ぶことができる」、という訳だ。教育とはお金の掛るもの。幼い時分から塾や家庭教師、参考書などに次々とつぎ込むのが当たり前であった。そして学びのある子と学びのない子ではあらゆる面で差が出てくる。彼はそのことを指摘していた。

○…「衣食足りて礼節を知る」ということわざがある。衣食とはすなわちお金であり、礼節は知識である。動画の普及によってこれからは「衣食は足りなくても、礼節を知る」ことができるのだ。

○…所得格差は開いているというが、知識格差は少なくなるのだろうと思う。知識を得る機会が動画によって平等になったと思えるからだ。そうになると、時間を惜しまずに学ぶ人と、そうでない人の差が顕著に表れる。「学びは自信と勇気を与えてくれるもの」だと言った彼の言葉が耳に残る。何歳になっても学びは知的好奇心を満たしてくれるものだとも。



県政に関する疑問や質問は、西川ひとしにお寄せください。

〒639-2141 葛城市弁之庄58-2
TEL:0745-69-1234 FAX:0745-69-7891